

研修 評価

研修名	外来における在宅療養支援能力向上のための研修				
領域	政策提言に向けた研修	会場	看護研修センター	受講料	会 員：3,080 円 非会員：6,160 円
対 象	病院の外来、診療所勤務の看護職員または勤務予定のある看護職 30 人 募集数(30 人)応募数(22 人)参加数(22 人)会員数(20 人)非会員数(2 人)				
日 時	令和 6 元年 3 月 2 日 (土曜日) 14:00~16:30				
ねらい (目標)	1. 外来看護を取り巻く現状や国の政策について理解することができる 2. 所属施設の医療機能や地域の実情等から、地域で切れ目ない在宅療養支援を行う上での、自施設が担うべき役割を理解することができる 3. 1 及び 2 を踏まえて演習によって在宅療養支援における自身の役割や課題に対する認識を深め、実践力の強化につなげることができる				
講 師	日本看護協会 e-ラーニング				
内容・方法	○講義 (e-ラーニング) 1. 外来看護を取り巻く現状と課題、国の政策動向等に基づく外来看護職の役割 2. 外来における在宅療養支援 3. 在宅療養を支える地域連携とネットワーク 4. 在宅療養患者 (外来患者) の意思決定支援 5. 在宅療養患者 (外来患者) を支える社会資源 ○演習 1. 講義:「新潟県の医療・看護を取り巻く状況と外来看護」 2. グループディスカッション ・所属施設における外来看護職員の在宅療養支援のあり方を明確にすることで、今後の外来看護職員としての在宅療養支援の強化を図る				
結果・評価 (受講者の意見感想)	○評価方法:アンケート結果 ・理解度 (理解できた・ほぼ理解できた) 100% ・自己課題の達成度 (達成できた・ほぼ達成できた) 95% ・受講者の満足度 (満足できた・ほぼ満足できた) 100% ○感想・意見 ・他職種との情報共有 (連携) が、いかに大切なことか考えさせられた。学びを深めたい。 ・外来における在宅療養視線について事例検討を通して深めることができた。 ・まさにこれから自部署で取り組んでいかなければならない課題であったので、とても役に立つ研修だった。				
企画の評価	○目標・内容・プログラムの妥当性 ・アンケート結果、感想・意見から、妥当性はあった。 ・本研修は、地域包括ケアシステムを推進していくためにも重要な位置づけと考え、次年度も継続する。				
課 題	・中小規模施設、クリニック等からの参加の増				
担当者	看護協会				